

# 衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

【第198回国会】平成31年4月11日（木）、第3回の委員会が開かれました。

## 1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

・平井国務大臣（科学技術政策、宇宙政策、知的財産戦略及び情報通信技術（IT）政策担当）、うえの財務副大臣、永岡文部科学副大臣、城内環境副大臣、中村文部科学大臣政務官、新谷厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）和田義明君（自民）、岡本三成君（公明）、中谷一馬君（立憲）、吉田統彦君（立憲）、青山大人君（国民）、浅野哲君（国民）、畑野君枝君（共産）、井上英孝君（維新）、重徳和彦君（社保）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 和田義明君（自民）

#### （1） 「デジタル手続法案」

ア 同法案の意義及び国民が実感できるメリット

イ 同法案によるコスト削減効果

#### （2） がんゲノム医療

ア がんゲノム医療に対する政府の方針及び取組状況

イ がん遺伝子パネル検査を実施する医療機関を拡充するための方策

ウ 医療分野におけるAIの研究開発に関する政府の体制及び先進国における先進的な取組

エ がんゲノム情報のデータベース構築の取組状況

オ がん創薬における政府間又は企業間連携に対する我が国のイニシアティブ及び今後の方向性

### 岡本三成君（公明）

#### 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

ア 第1期SIPの成果及び平井国務大臣の評価

イ プロジェクトをサポートするスタッフを増員する必要性

ウ 予算編成の在り方など第2期SIPの開始に当たっての反省点及び今後の取組

エ SIPへの理解を広げるため関係議員へ情報提供する必要性についての平井国務大臣の見解

オ 科学技術白書へのSIPの記述を増やすための平井国務大臣の決意

### 中谷一馬君（立憲）

#### （1） ブロックチェーン技術

ア 平井国務大臣の認識

イ 活用に向けた取組が諸外国に比べ遅れている現状に対する平井国務大臣の所見

#### （2） 暗号資産を活用した経済成長や地方創生に係る取組

#### （3） 中央銀行が発行するデジタル通貨「セントラル・バンク・デジタル・カレンシー」についての平井国務大臣の認識

#### （4） ムーンショット型研究開発制度の展望についての平井国務大臣の見解

### 吉田統彦君（立憲）

#### （1） 大学・研究機関や医療機関における財源

- ア 寄附を促進するため税制の見直しや寄附者等に係るネーミングライツの活用に取り組む必要性
- イ 寄附が増えない要因
- (2) 研究者の学会等への出席に係る諸費用について税制上の優遇措置を設ける必要性及び今後の検討の方向性
- (3) 研究者のポストの数や給与等の待遇の改善の必要性
- (4) 核融合研究開発の推進
  - ア 我が国における核融合原型炉や商業炉の誘致の可能性
  - イ ITER計画が当初予定より遅れている現状についての永岡文部科学副大臣の認識
  - ウ 同計画の今後の予算確保の見込み及び技術的な懸念点の解決策
- (5) 研究費に係る国の補助金の基金化を進める必要性
- (6) 炭化水素を生み出す藻類「ボツリオコッカス・ブラウニー」等の研究を国として推進する必要性

#### 青山大人君（国民）

- (1) 温室効果ガスの観測技術
  - ア 日本が同分野で世界をリードするための取組
  - イ 温室効果ガスの排出量の計測基準の国際的な標準化を日本が積極的に進める必要性
  - ウ 2023年度の打上げを目指している温室効果ガス観測技術衛星「いぶき3号」の現在の進捗状況及び1号機、2号機からの改良点
  - エ 温室効果ガスの観測について各国との分担や連携を図る考えの有無
  - オ 本年5月に京都市で開催される「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第49回総会」に向けた政府の姿勢
- (2) 国立環境研究所関係
  - ア 現場を支える研究系人材の処遇を改善する必要性
  - イ 施設の老朽化対策に取り組む必要性
- (3) つくば国際戦略総合特区における政府の現在の取組や支援状況及び課題

#### 浅野哲君（国民）

- (1) ブラックホール観測の初成功に伴う日本の若手研究者や宇宙関連の研究者に対する平井国務大臣からの激励
- (2) 科学技術を利用した障害者及び高齢者の活躍促進
  - ア アバターロボットを利用した障害者の就業支援事業の概要
  - イ 最新技術を活用して障害者や高齢者の活躍を促進するための取組
- (3) 国内の大学の研究開発力の現状及び今後の強化策
- (4) 私立大学研究ブランディング事業の打ち切りに関する報道（2019年4月9日）
  - ア 報道内容の真偽
  - イ 私立大学への代替措置又は救済措置を今後検討する考えの有無
  - ウ 文部科学省が事業打ち切りについて私立大学側へ十分な説明をする必要性及び事業実施者として責任を具体的に示す必要性

#### 畑野君枝君（共産）

- (1) 「Society 5.0」の実現に向けて大学改革や若手研究者の活躍促進に政府が取り組む理由
- (2) 大学等部門、公的機関部門、企業部門における論文生産数の状況
- (3) 企業部門の論文生産数が減少している理由

- (4) 第5期科学技術基本計画や統合イノベーション戦略は、大企業が行ってきた基礎研究を大学に移行させることを目的としているとの意見に対する平井国務大臣の見解
- (5) 研究費を競争的資金化したことで基礎研究が疎かにされているとの意見に対する平井国務大臣の見解
- (6) 若手研究者が減少している理由及び博士課程修了後に研究職を志す若手が少ない理由
- (7) 今年度から導入される国立大学法人運営費交付金の配分指標において、40歳未満の若手教員に任期付教員が含まれることの確認

**井上英孝君（維新）**

- (1) 知的財産戦略
  - ア 意匠権も含め特許権などの知的財産権による複合的な保護の効果や重要性についての普及啓発方法
  - イ 「知的財産戦略ビジョン」（2018年6月公表）等で提唱する「価値デザイン社会」の意味並びに同ビジョンの策定経緯及び実現するための施策や工程
  - ウ 知的財産に関係する人材の具体的な育成方法
  - エ クールジャパン戦略
    - a 日本の魅力を外国人に伝えるための展開方法
    - b 投資の失敗を極力抑え、海外のニーズを的確につかむための同戦略の立て直し策
- (2) 本年1月にシンガポールで視察した自動運転の実証実験等についての平井国務大臣の感想

**重徳和彦君（社保）**

- (1) 携帯電話の端末購入代金と通信料金の「セット販売」の是非
  - ア セット販売が行われてきた理由
  - イ セット販売の問題点並びに完全分離販売にした場合のメリット及び外国の実施例
  - ウ 完全分離販売の実施が消費者の負担感を増加させる可能性
  - エ 業者間の公正な競争の実現により予想される携帯端末や通信料金の低額化
- (2) 5Gへの移行を促進するための携帯端末購入への補助に対する平井国務大臣の見解